

一般質問 市政を問う



9月10日から13日までの4日間、16人の議員が登壇し、市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をたどしました。

各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

※一般質問の詳細等が載った会議録は、次の定例会までに第1庁舎の行政情報コーナーに備え付けますので、ごらんください。

二ツ井地域の 独自施策の今後は



穴山 和雄
(よねしろ会)

質問 二ツ井地域には、旧町時代から各地区の分館活動の推進や敬老式など独自の施策が実施されている。また、きみまちの里フェスティバルなどにも取り組んでいる。今後独自の地域政策は総合計画にどのように位置づけられるのか。

答弁 地域コミュニティは、年々その希薄化が懸念されてきており、伝統文化の継承も難しくなりつつある状況の中で、長年行われてきた活動やイベントは貴重な地域の財産であると認識している。このため、総合計画1次素案では、基本構想の根底となる3つの考え方を基本理念に掲げ、その柱の一つとして、「市民の力や地域の力を発揮し」「人が輝く都市」を創っていくとしており、こうした考え方をもとに、政策・施策を構成している。今後、市民や地域が主体となったまちづくりは重要との考えから、そうした取り組みに対しては、市として可能な支援をしていきたいと考えている。

閉校後の校舎・附属 施設等の利活用は

質問 二ツ井地域では平成20年3月には4小学校が閉校となる。先に閉校となった3校の維持管理は公民館分館が行い地域行事に利用している。木造校舎については地域と話し合い一部解体も含め、年次計画をもって進めることはできないか。

答弁 閉校後の施設等の利活用は、小学校再編に際し各地域において開催した説明会でグラウンドと体育館は残してほしいとの要望が多く出され、地域の公民館分館が施設の貸し出しや維持管理を行っている。各地域では、地域行事の開催のほか、体育館開放に伴う利用も定着してきており、地域の活動拠点としての役割を果たしていると認識している。閉校後の施設のあり方については、これまで同様、利活用については地域との話し合いを基本とし、統合に係る地域説明会を開催する10月をめどに、施設の維持管理を含め地域の方々と話し合いを進め、検討を行っていききたい。

穴山議員のその他の質問事項

- 二ツ井地域への配慮・気配りは
- 職員間の融和を図る施策は
- 農業後継者の育成